

土を使ったエネルギー・ 環境問題の解決策の提示

原子力発電に伴い発生する放射性廃棄物の処分に貢献するため、水や物質を通しにくいベントナイトと呼ばれる土の性質を実験的に研究しています。また、土や岩石、産業廃棄物が大気中の二酸化炭素を吸収・固定できる性質を利用し、気候変動の抑制と災害に強い社会の実現に向けて研究を進めています。

STEP 01

CO₂固定化素材の発掘

バッチ試験，化学分析による
CO₂固定化反応の確認



STEP 02

CO₂固定量の正確な評価

カラム試験，物質収支や
反応条件に基づく固定量の算出



→地域や社会の有する**カーボンキャプチャー性能**の試算
CO₂固定化性能+災害耐性をもったインフラ施設の提案

キーワード

放射性廃棄物，CO₂固定，環境親和性，土質材料

分野

環境地盤工学，エネルギー地盤工学，土質力学